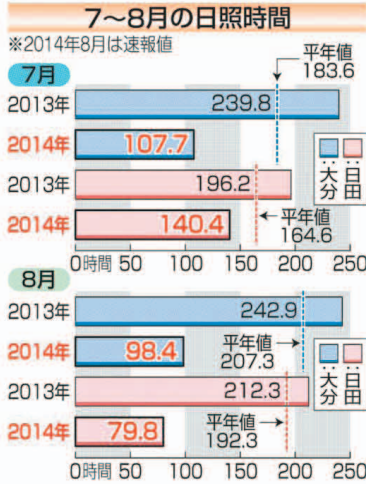


年	組	名前
---	---	----

「夏らしさ」を感じることが少ないまま、8月は終わり、9月になりました。

夏らしさ少ないまま...



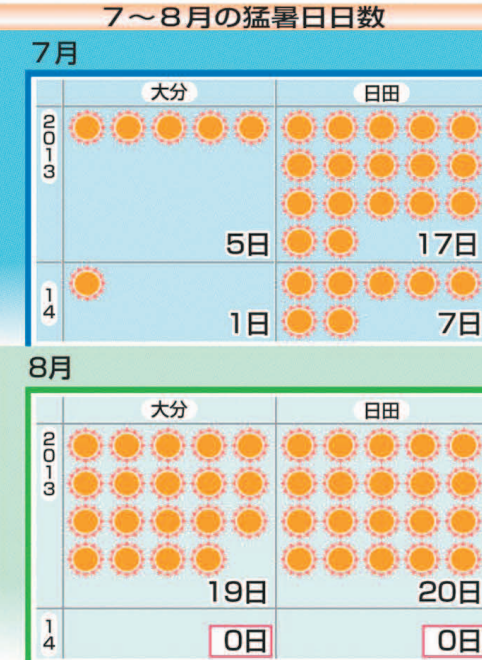
台風や前線の影響で長雨となった7、8月の県内。記録的な暑さとなった昨年とは打って変わり、日田市では1980年以来、8月の猛暑日数がゼロとなった。太陽が顔をのぞかせる日は少なく、日照不足は顕著に。「夏らしさ」を感じることが少ないまま8月は終わり、9月になった。

大分地方気象台による7、8月の月平均最高気温は、大分30.3度(平年30.6度)、日田31.9度(同32.1度)、8月(速報値)は大分30.1度(同31.8度)、日田30.5度(同33.2度)と、いずれも平年を下回った。昨年7、8月の猛暑日数は大分24日、日田37日だったが、今年は大分1日、日田7日と激減。8月は両地点ともに猛暑日の観測がなかった。日照時間も記録的な短さとなった。8月1カ月間で

日照時間

8月、大分と日田ゼロ

10地点、観測史上最短



大分は98.4時間(平年207.3時間)、日田は79.8時間(同192.3時間)と、平年の半分以下。全14地点のうち、10地点で観測史上最短(中津は統計開始10年未満)となった。長雨、日照不足となったのは台風や停滞前線の影響で、高気圧周辺と前線に向かう二つのルートで南からの暖かく湿った空気が流れ込んだ。不順な天候は天気予報を困難にさせた。週間予報では晴れる日もあるが、気圧の谷や前線の影響で曇りがちな天気となりそう。

付近が高気圧の周辺部に当たると大気の状態が不安定になると、雨の降る場所や時間の特定がしづらい」と長期予報の難しさを説明する。

エルニーニョ現象発生の可能性は夏から秋に変わり、さらに最新の監視速報では秋から冬にかけて発生する可能性と発生しにくい可能性が同程度とみられている。秋に発生した場合、西日本では降水量が少なくなる傾向にある。今後1週間

(2014年9月1日朝刊23面)

②また今年は大分、日田の各地点で、日照時間は7、8月それぞれ、平年の何%になるでしょう。

③日照時間が少ない夏、影響することを考えよう。

.....

.....

.....

.....